

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	10 国際関係
中項目	
小項目	10.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	10.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 隔年で、交流協定校、その他海外教育研究機関等から最低1人の教員（客員教員A）を受入れ、授業担当をしてもらう。	→国際交流協定校、その他海外教育研究機関等からの教員の派遣（客員教員A）受入れ数。	D	C			
2. 隔年で、本研究科教員を最低1人を交流協定校、その他海外教育研究機関等へ派遣する。	→国際交流協定校、その他海外教育研究機関等への本学教員の派遣数。	B	B			
3. 毎年、国際交流に関する講演会、交流会を実施する。	→国際交流に関する講演会と交流会の実施回数。	D	C			
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
なし	→なし					
なし	→なし					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目 10.0.1	10.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ ● 明示している ○ 明示していない (方針) 国際交流の重要性ならびに必要性に基づき学生の国際性の涵養に役立つ機会や環境を充実させ、外国と日本の架け橋としてグローバルに活躍できる法曹を養成すること。 (説明) 国際的科目履修の機会を確保しているほか、海外ロースクールに留学できる制度を設けている。現在の実績は1名だが、これらの環境や機会を生かす学生の輩出のためさらなる改善を進めている。
★ 小項目 10.0.2	10.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。 (説明) 米国・アメリカン大学への交換留学生の派遣が1名決定した(2011.8より)。また、教員については、ドイツのマックス・プランク研究所へ派遣中であり、米国・ハワイ大学ロースクール、英国・グロスターシャー大学への派遣が予定されている。国際交流に関する講演会の実績はこの間ないものの実現に向けて企画している。
その他	

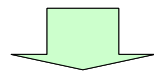
《評価指標データ》

★	
★	
★	

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目 10.0.1	
	小項目 10.0.2	
	その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

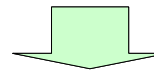
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目 10.0.1	
	小項目 10.0.2	
	その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

★	小項目 10.0.1	海外客員教員の受入を実現する。
	小項目 10.0.2	
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

★	小項目 10.0.1	2013年度に向けて米国・アメリカン大学からの招聘を交渉中である。
	小項目 10.0.2	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

< 評価専門委員会の評価 >

- 国際交流の活発化については進展が見られますが、さらなる努力続けられることを期待します。
- 司法試験に向けた学習と研究に取り組む中で、交換留学の派遣を進めることは困難と思われませんが、研究科の理念でもある「国際的に活躍できる法曹」育成のためには制度が有効に活用されることが期待されます。その中で1名の派遣が決まったことは喜ばしいことですが、派遣学生の成果が良き前例となり、後進に道を示されることを期待します。
- 目標3について、達成に向けた具体的な方策についての記述が欲しいです。
- 司法試験の受験を控えているロースクールにおいて国際交流を進めることは困難なことです。国際性を謳っている関学ロースクールにおいて国際交流が停滞することは大きな課題です。その中で、学生の派遣が久しぶりに決まったことは喜ばしいことです。毎年少人数でも派遣が実現されることを期待します。
- 教員の受け入れも交渉中とのことです。実現に期待します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	なし
---	----